

松浦武四郎記念館…武四郎のすべてがわかる



松浦武四郎は、幕末に6回の蝦夷地調査を行い、膨大な記録を残し、詳細な地図を出版したほか、明治維新に北海道の道名や国名、郡名の選定に携わったことから、「北海道の名付け親」と呼ばれてきました。

松浦武四郎記念館には、武四郎の貴重な資料を後世に残し、広く紹介するため、重要文化財の指定を受けた1505点の資料が保管・展示されており、定期的に展示資料を入れ替えているほか、充実した映像コーナーやすぐろくクイズなどを通じて、武四郎のさまざまな姿を紹介しています。



松浦武四郎記念館

- 住所 / 〒515-2109 三重県松阪市小野江町383
- 電話 / 0598-56-6847
- 開館時間 / 9時30分～16時30分
- 休館日 / 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始
- 入館料 / 一般310円、6歳以上18歳以下200円、就学前の児童は無料
- アクセス / 近鉄伊勢中川駅下車東口よりタクシー約7分、伊勢自動車久居ICから車で15分、駐車場完備

松阪市指定史跡「松浦武四郎誕生地」…武四郎の旅の原点がここに



松浦武四郎記念館から徒歩で約7分のところに、「松浦武四郎誕生地」があります。

前面の通りは「伊勢街道」と呼ばれ、江戸時代には伊勢神宮参拝を目的とする「おかげ参り」の旅人が数多く行き交いました。

おかげ参りの旅人は年間500万人にも上ったとされ、街道を埋め尽くす大勢の旅人の姿に刺激を受け、武四郎は旅を志しており、誕生地なくしては、武四郎の生涯を語ることはできません。 ※2018年2月内部公開予定。

武四郎のふるさと「松阪」…豊かな歴史と文化が香るまち

幕末から明治維新という激動の時代を生きた武四郎は、伊勢の国一志郡須川村、現在の三重県松阪市小野江町に生まれました。「伊勢街道」「和歌山街道」「伊勢本街道」の主要街道が交差するこの地は、昔から物資や文化、情報の流通が盛んであり、三井家をはじめとする商人のまちとして栄える一方で、武四郎のほか、「本居宣長」「竹川竹斎」という偉人たちを輩出してきました。

古事記伝を執筆した国学者である本居宣長を、多くの学者たちが街道を通り松阪へ訪ねるとともに、街道を通じて全国の弟子たちと通信教育を行ったことで、国内の学問がより一層深まりました。

また、竹川竹斎は、伊勢本街道に近い松阪の射和(いざわ)で豪商として活躍するとともに、さまざまな情報を集めた蔵書家であり、勝海舟の政治顧問を務め、明治維新の影の立役者と言われた人物です。

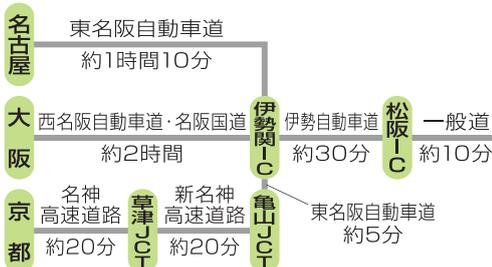
このように、「道」に始まり、「道」をつくった松阪の偉人たち。彼らが育った背景に、「道」が大きな影響を与えていたことは間違いありません。

長谷川家など松阪木綿を商った豪商の旧宅や、勇壮な石垣が残る松坂城跡など歴史あるまちなみ。そして、世界に誇るブランド牛「松阪牛」。偉人たちを培った故郷「松阪」には魅力があふれています。ぜひお越しください。

三重県松阪市へのアクセス

※松浦武四郎記念館へは、伊勢自動車久居ICから車で15分、近鉄伊勢中川駅下車東口よりタクシー約7分

■車でお越しの場合



■航空機・列車でお越しの場合



松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

〒515-2109 三重県松阪市小野江町383 (松浦武四郎記念館内)
TEL 0598-56-6847 (休館日を除く9時～17時) E-mail takeshirou@city.matsusaka.mie.jp



旧長谷川邸

松阪肉

松坂城跡